

# 農場通信 2022年 12月号


2022/11/25

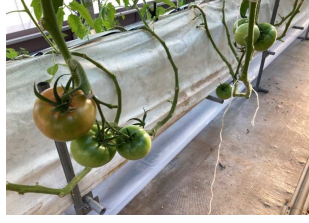
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグ展示栽培 ③ 2022/8/30 ④ 2023/7月下旬

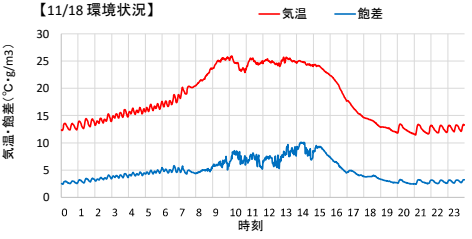
品目	圃場写真①	圃場写真②
<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="width: 10px; height: 10px; background-color: #90EE90; margin-bottom: 2px;"></div> 栽培中             <div style="width: 10px; height: 10px; background-color: #D3D3D3; margin-bottom: 2px;"></div> 栽培準備中             <div style="width: 10px; height: 10px; background-color: #F08080; margin-bottom: 2px;"></div> 今月最終           </div>		
直近の環境データ・管理方法(晴天日)	今月の状況と今後の管理	
※特に表記のないものは設定と実測の温度を示しています		

### 大玉トマト





【11/18 環境状況】





品種は例年通り桃太郎ホープxアシスト接木4年目と新品バッグでの生育比較、『ハーフ』バッグの比較展示も行っています。

現在3段目を収穫中。今作は定植後から10月までは夜間天窗とカーテンを閉めて『夜間保湿』をおこなったところ、初期の裂果がかなり軽減されました。ただしデータ上は夜間飽差は例年より高く、本当に保湿の効果かどうかは判断としません。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

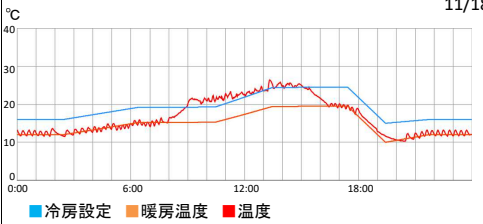
### ミニトマト






11月に入り、生育のスピードが落ち、色回りもゆっくりとなってきました。収穫開始直後の長玉も減ってきており、週品率が上がってきましたが、曇天の翌日に裂果しやすい品種の差が見られるようになりました。


給液は日射比例制御、晴天時は約1000cc、給液ECは2.0前後、排液率10-20%になるよう調整しています。



① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

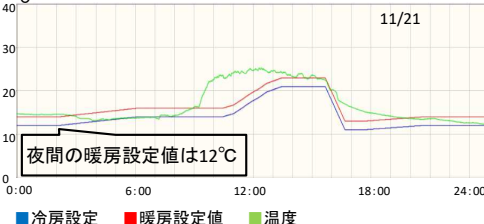
### 大玉トマト






4.5段目の収穫が始まっています。裂果は治まり、秀品率が上がってきました。色まわりがゆっくりのため、葉かきを多めに進めています。


給液量は、プロファーム(日射)で制御開始、晴天時で1000ml/株、ECは1.9、排液率10-15%になるよう調整しています。



① 第4 D ② 品種比較&肥料高騰対策試験 ③ 2022/8/23 ④ 2023/4月

### 変わり種トマト

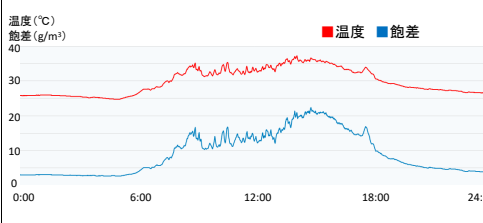




全品種で収穫を行っています。


コナジラミも消毒の実施で数もだいぶ減ってきました。

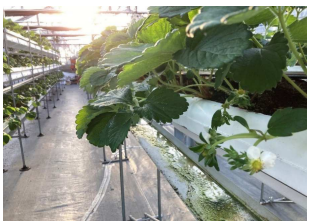
前回放飼のパコトップもありますが、追加でパコトップ放飼を行う予定です。



① 第4 E ② ベンチ・品種比較試験 ③ 2022/9/1 ④ 2023/5月

### イチゴ

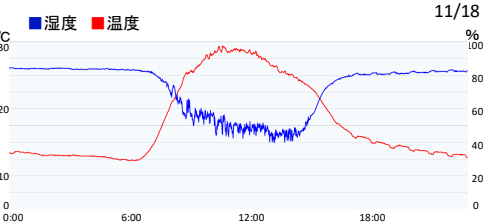




9/1定植のクラウン温度制御を行っている区は11/20頃から出蕾が始まりました。慣行区ではまだ出蕾していません。


9/28定植の区では11月中旬から出蕾が始まっています。


給液量150cc/日、灌水回数3回、EC0.5前後で管理をしています。



① 第4 J ② 品種・作型・仕立て方比較試験 ③ 2022/10/6 ④ 2023/8/30

### キュウリ

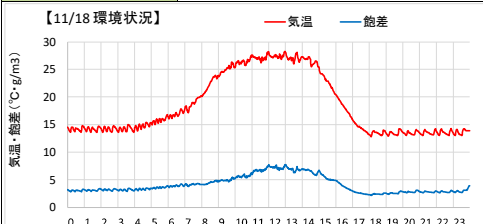




品種は勇翔・プレスト・ニーナZ、台木は全てゆうゆう一輝黒。今作は、年1作・2作の比較や仕立て方の違いが年間収量に及ぼす影響を調査します。


子蔓摘芯区は2回目の摘芯をしたところ。非摘芯区は成長点が誘引線を超えたので順次つる下ろしています。給液ECは2.2程度、1日株2000ml程度灌水。


収量は品種差が大きく、ニーナZが初期収量は多くなっています。



① 第4 I ② 排液リサイクルシステム実証試験 ③ 2022/8/19 ④ 2023/6月

### 大玉トマト

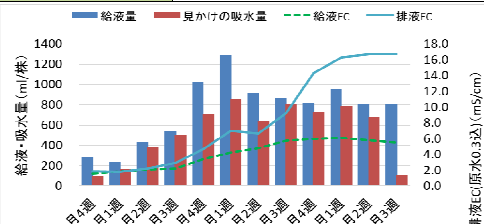




2段目の収穫をしています。糖度は5.5ほど。12月中旬までに7.0を目指します。

給液量は1000ml/株(晴天)。ECは引き続き7.0。排液ECは17.0です。収穫が始まった頃に急に上昇しました。

毎給液に排液を最大50%混入しています。





豊かさ実る、タネを。  
**トヨタネ株式会社**

**研究農場 TEL (0532) 41-2007**  
 愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015  
 URL <https://www.toyotane.co.jp/>  
 E-mail [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp)



① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2022/8/24~④ 2023/4月

ブロッコリー			1作目 1作目、収穫始まりました！ 2作目、出蕾開始。 3作目、3回目追肥済み。 4作目、2回目追肥済み。  台風と雨の影響影響で、根痛みや生育の遅れが起っています。追肥や中耕で持ち直してきています。
	①年内作 7/27播種、8/25定植。 ②年またぎ作 8/19播種、9/15定植。 ③年明け作 9/5播種、9/30定植。 ④年度末作 9/20播種、10/14定植。 ⑤春作 1月中旬播種予定。		



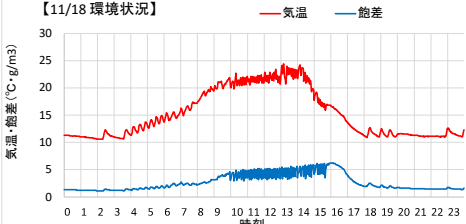
① 第3 M ② エンドウコバック栽培展示 ③ 2022/6/25 ④ 2022/9月

エンドウ			11月になって14節~15節に着鞘してきました。樹勢がまだ充分着いてないので15節までの鞘は大きくならないので、摘果していきます。収穫は16節以上になります。12月上旬からの収穫見込みです。藤姫はまだ着鞘していません。
			



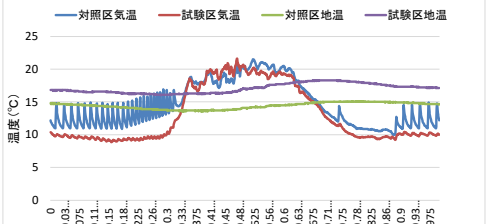
① 第6 露地 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2022/8/19~④ 2023/4月

キャベツ			1作目 ①は、11/24に収穫。裂球した品種もあります。灌水不足で小玉になってしまいました。 ②は、形になってきたものもちらほら。 12/16にイベントを行います◎ ③春は、2回目の追肥も行い、順調です。乾燥していたため、灌水も行いました。 ④は、12月頭に2回目の追肥予定です。
	冬キャベツ 計4作型 ①年内作 8/19定植。11/24収穫。 ②年またぎ作 9/3定植。11/19追肥。 ③年明け作 9/12定植。11/7追肥。 ④3-4月作 9/26定植。様子見。  春キャベツ 計1作 年明け作 9/26定植。11/7追肥。		

① 第8 ② 高精度栽培収益確認試験 ③ 2022/8/1 ④ 2023/7月中旬

大玉トマト			大玉トマト9段開花、ミニトマト1-14段付近開花。給液ECは設定上限の7.0まで上げています(単肥処方)。排液ECは現在20程度になりました。  ミニトマトは各品種、糖度8度以上となり高糖度と呼べるレベルになっています。大玉はEC高いわりに糖度が上がりず5度後半程度。夜温がしっかり下がらないと糖度も上がらない？ 収量は初期の着果不良のため、かなり少ない状況。
			

① 第1 TSK ② ココバッグ温湯培地加温試験 ③ 2022/8/23 ④ 2023/4月頃

ミニトマト			ココバッグ台座を『中央排水タイプ』に変え、バッグ下にPEパイプを通し、加温した水を循環させて培地を加温します。  11月初旬より培地加温開始。循環水の温度設定は18℃としています。培地加温区の気温は夜間10℃程度となっており、今後収量や開花段数に変化がどうか調査していきます。
			

① 第1 P ② 小松菜品種比較試験 ③ 2022/10/28 ④ 2022/12月頃

コマツナ			秋蒔き小松菜10品種の試験を行っています。10月28日に播種を行いました。現在、本葉4~5枚展開中(11月22日現在)  12月6日に、品種特性調査を行います。
	12月7日、秋蒔き小松菜品種見学会開催します！		

① 第7 TSK ② 海外野菜展示 ③ 2022/9月 ④ 2023/3月頃

海外野菜		北 カリフラワー	南 ビーツ	北棟では、カリフラワーの収穫がまもなくです。スティックタイプですので、花蕾が緩んできたら収穫です。  南棟では、9月上旬に播種したビーツが収穫を迎えています。
	品目はこちら ・カリフラワー ・つるなしインゲン 北 ・黒キャベツ ・ケール ・非結球芽キャベツ ・ズッキーニ 南 ・ビーツ ・ニンジン ・スイスチャード ・チコリ			

① 第7 露地 ② カボチャ露地抑制裁培試験 ③ 2022/8/20 ④ 2022/11/下

栽培終了/ カボチャ		親蔓1本仕立てと子蔓3本仕立ての2タイプ仕立てで行っていました。親蔓がうどんこ病に罹病してかなり傷んでしまいました。  栽培終了です。



豊かさ実る、タネを。  
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007  
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015  
URL <https://www.toyotane.co.jp/>  
E-mail [info@toyotane.co.jp](mailto:info@toyotane.co.jp)